

石川島建材工業ニュース

NO. 76

平成18年2月3日

各位

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号

石川島建材工業株式会社

代表取締役社長 藤本 幸男

(コード番号 5276 東証第2部)

(決算期 3月31日)

問合せ先 常務取締役経営管理本部長

窪田 利通

(TEL. 03-5221-7211)

当社の親会社 **石川島播磨重工業株式会社**

代表取締役社長 伊藤 源嗣

(コード番号 7013 東証第1部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年11月11日の中間決算発表時に公表した平成18年3月期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成18年3月期連結通期業績予想数値の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	42,000	280	△350
今回修正予想(B)	39,800	0	△730
増減額(B-A)	△2,200	△280	△380
増減率(%)	△5.2%	△100.0%	-
(ご参考) 前期実績(平成17年3月期)	43,040	477	△71

(金額の単位:百万円)

2. 平成18年3月期個別通期業績予想数値の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	22,200	460	200
今回修正予想(B)	20,700	310	90
増減額(B-A)	△1,500	△150	△110
増減率(%)	△6.8%	△32.6%	△55.0%
(ご参考) 前期実績(平成17年3月期)	24,172	565	294

(金額の単位:百万円)

3. 修正理由

当下半期におけるわが国経済は、企業収益の改善が民間設備投資の拡大と雇用・所得環境の改善をもたらし、個人消費も回復しており、景況感は引続き改善しています。しかし、当グループの主要顧客である建設業界においては、民間部門で明るさが見られるものの、財政悪化を背景に予算削減が続く公共部門においては、依然として景気は厳しく受注競争も熾烈であり、その影響を受ける当グループの受注環境も引続き厳しい状況が続いています。

- (1) 通期の連結業績予想数値につきましては、売上高は前回発表予想値の 42,000 百万円を 39,800 百万円へ修正します。これは、橋梁工事の受注時期の遅れ及び下部工事の着工の遅れと、その他の土木・建築工事の受注時期の遅れや受注低迷の影響によるものです。

経常利益につきましては、橋梁工事及びその他の土木・建築工事の売上減少に伴う売上総利益の減少に、主力製品であるセグメントの採算悪化が加わり、一方では固定費の削減を推進しておりますが、前回発表予想値の 280 百万円が 0 百万円となる見通しです。

当期純利益につきましては、経常利益の悪化と税金費用の増加のため、前回発表予想値の△350 百万円を△730 百万円へ修正します。

- (2) 通期の個別業績予想数値につきましては、売上高は前回発表予想値の 22,200 百万円を 20,700 百万円へ、経常利益は前回発表予想値の 460 百万円を 310 百万円へ、当期純利益は前回発表予想値の 200 百万円を 90 百万円へ、それぞれ修正します。

(注) 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、事業環境等様々な要素があります。

以 上